

四国地方整備局
平成 29 年 2 月 10 日

魅力ある地域づくり活動団体を表彰します。
平成 28 年度「手づくり^{ふるさと}郷土賞」（国土交通大臣表彰）

「手づくり^{ふるさと}郷土賞」は地域づくり活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。

今年度は、四国地方から一般部門で 3 件選定されました。つきましては、認定証の授与式を以下のとおり実施します。

受賞団体：四万十川自然再生協議会（活動地区：高知県四万十市）

件名：流域住民主体で四万十川の環境保全と地域活性化の活動

開催日時：平成 29 年 2 月 16 日（木）14:00～

開催場所：四万十市役所 3 階防災対策室（高知県四万十市中村大橋通 4 丁目 10）

受賞団体：AMEMBO（活動地区：徳島県美馬市）、**美馬市**

件名：カヤックで目指す四国のまほろば ～吉野川河畔ふれあい広場～

開催日時：平成 29 年 2 月 27 日（月）15:00～

開催場所：四国三郎の郷 交流体験室（徳島県美馬市美馬町字境目 39-10）

受賞団体：松山白鷺ライオンズクラブ（活動地区：愛媛県松山市）

件名：We Love 石手川 河川大清掃

～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～

開催日時：平成 29 年 4 月 7 日（金）15:00～

開催場所：松山市役所 3 階第 1 会議室（愛媛県松山市二番町四丁目 7 番地 2）

※認定証及び記念盾を、四国地方整備局長より受賞団体へお渡しする予定です。

※日時場所については、変更する場合があります。当日取材される場合は、事前に問合せ先までご連絡ください。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.3 美しい自然とおもてなしの心による「視国」観光活性化プロジェクト」の取組に関連します。

<問い合わせ先>

四国地方整備局 企画部 広域計画課

課長 福田 浩

課長補佐 阿部 福夫

電話 087-811-8309（広域計画課直通）

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。平成28年度で31回目。

【一般部門】

地域の個性を創出している、良質な社会資本及びそれと関わりのある優れた地域活動を一体として表彰

【大賞部門】

これまでに「手づくり郷土賞」を受賞したもののうち、一層の発展のあったものを表彰

(参考) 平成28年度手づくり郷土賞応募要領は以下のURLをご参照ください。
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/entry/boshuu/bosyu.pdf>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します

手づくり郷土賞選定委員会（平成28年度）

委員長	齋藤 潮	東京工業大学環境・社会理工学院 教授
委員	荻原 礼子	結まちづくり計画室 代表
委員	鈴木 伸治	横浜市立大学国際総合科学部 教授
委員	田中 里沙	事業構想大学院大学 学長
委員	関 幸子	株式会社ローカルファースト研究所 代表取締役
委員	平野 龍平	富士急行株式会社 交通事業部 兼 グループ事業部 プランナー
委員	藤田 耕三	国土交通省総合政策局長

流域住民主体で四万十川の環境保全と地域活性化の活動

<活動主体> 四万十川自然再生協議会

<対象となる社会資本> 四万十川自然再生事業(アユの瀬づくり事業)入田箇所河道・河畔林 (管理者:四国地方整備局中村河川国道事務所)

菜の花まつりで散策する来訪者



野草の料理試食コーナー(菜の花まつり)



貴重植物の保護活動



河川内の鳥類の観察・学習



四万十の水辺八十八カ所めぐり



中高生も参加する除草・清掃活動



<活動内容>

・四万十川の自然と環境を守り、地域の活性化をはかることを目的とし、春の菜の花まつりをはじめとした各種イベントや、自然観察会や貴重植物の保全活動、四万十水辺八十八カ所の選定などの観光資源の発掘・PR等様々な活動を行っています。

・菜の花まつりでは、地元地区民が如何に参加し、役立つか考え、地区の物産コーナーで地元野菜や料理等を販売し、収益になるとともに、団結が深まる、若い人のやる気がでるとの効果がでています。まつりは、関係団体が一丸となり取り組み、当初の4千人から現在では2万人の来場者となっています。

カヤックで目指す四国のまほろば～吉野川河畔ふれあい広場～

<活動主体> AMEMBO

<対象となる社会資本> 吉野川河畔ふれあい広場 (管理者:美馬市)

自然体験活動を楽しむ子供達



竹細工づくり



そうめん流し



日本一のどんど焼き



国交省と連携した水上パトロール



地元漁連と連携して清掃活動



<活動内容>

- ・吉野川中流の大自然を活かして、地域住民との交流による地域の活性化を目指し、小中学生をはじめ家族連れ等を対象に、**カヤックでの自然体験活動**を行っており、**年間約2000名の利用**となっている。
- ・カヤック以外にも、**河川の間伐竹を用いた竹細工、竹灯籠、そうめん流しなどの体験活動**や、**高さ10m、間伐竹2万本の日本一のどんど焼き**など様々なイベントを行っている。またイベント以外にも、国交省と連携した**水上パトロール**や地元漁協と連携して**清掃活動**を行うなど、幅広く活動し、地域活性化に寄与している。

We Love 石手川 河川大清掃 ～河川環境改善による四国最大の親水空間の創出～

＜活動主体＞ 松山白鷺ライオンズクラブ ＜対象となる社会資本＞ 石手川親水公園(管理者:四国地方整備局松山河川国道事務所)

親水公園の清掃状況



親水公園の清掃状況



清掃活動終了後のハンバーガー提供



ボーイスカウト・ガールスカウトも一緒に



清掃活動終了後に治水に関する講演



河川清掃団体の意見交換会



＜活動内容＞

・川から遠ざかっていた市民と水辺空間を密接に結びつけるきっかけとなる活動を目的とした「**We Love 石手川 河川大清掃**」を平成4年から実施している。当初は41名の参加であったが、25年にもわたる継続した活動で、清掃活動後のハンバーガー提供による親子の参加を促す工夫や、河川清掃団体が集まる**意見交換会への参加**による交流等を通じて、現在では、**13団体、最大1600人の参加と発展**しました。さらに、本清掃活動による市民のごみ意識の向上にも寄与し、松山市は「**9年連続、1人1日あたりのごみ排出量最小を達成**」しています。